

サンパウロ日本人学校の実践

サンパウロ日本人学校
教諭 高橋 浩史

実践をふり返って

～遠隔授業を通して見える子どもの育ちと今後に向けて～



1. 研究の概要
2. 具体的な実践例
3. 研究をふり返って

実践をふり返って

～遠隔授業を通して見える子どもの育ちと今後に向けて～



1. 研究の概要

2. 具体的な実践例

3. 研究をふり返って

サンパウロ日本人学校って・・・

ブラジル・サンパウロの地で

- ・豊かな自然と環境
- ・様々な人種や歴史・文化
- ・他地域との幅広いつながり

子どもが**新たな世界を拓く**学校

- ・授業の中での新しい発見＝知
- ・様々な人や文化との出会い＝情
- ・新しい自分との出会い＝成長





変化の激しい世の中だからこそ

- ・ 絶え間ない技術革新
- ・ グローバル化
- ・ AI化・IT化
- ・ 少子高齢化や産業構造の変化



先の読めない社会でも

**主体的に力強く
生きぬく力を育む**



【研究主題（目指す子ども像）】

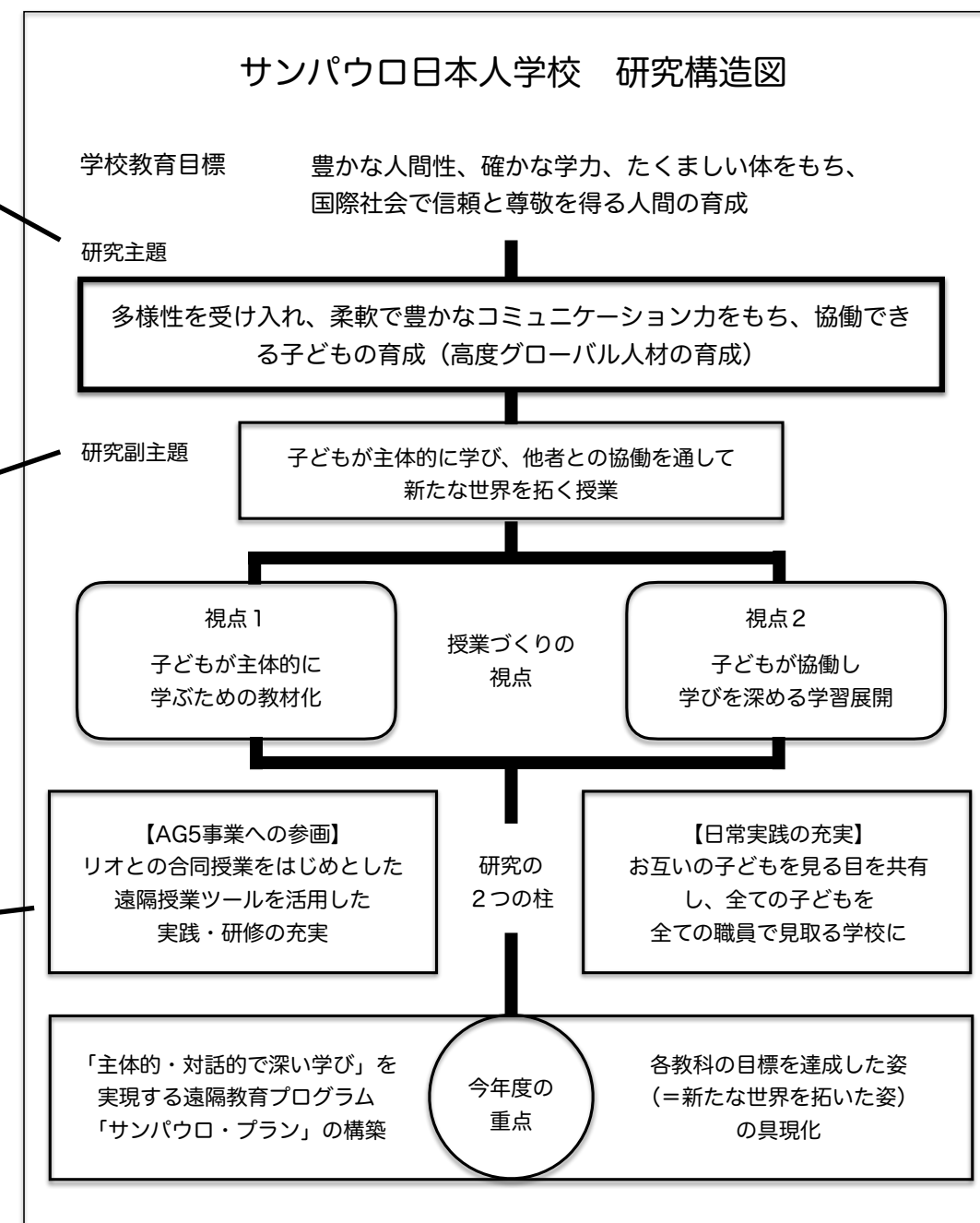
多様性を受け入れ、
柔軟で豊かなコミュニケーション力をもち、
協働できる子どもの育成（高度グローバル人材の育成）

【研究副主題（目指す授業像）】

子どもが主体的に学び、他者との協働を通して
新たな世界を拓く授業

【研究の2つの柱】

1. 日常実践の充実
2. AG5事業への参画



実践をふりかえって

～遠隔授業を通して見える子どもの育ちと今後に向けて～



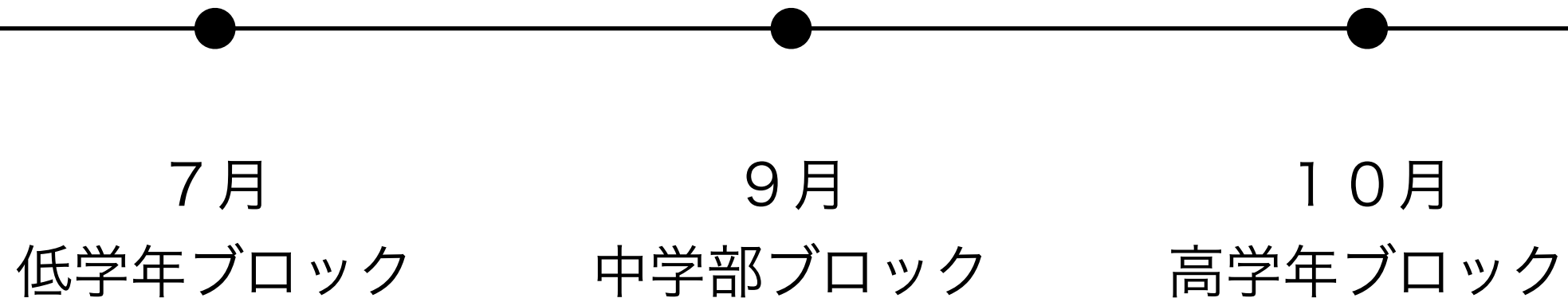
1. 研究の概要

2. 具体的な実践例

3. 研究をふり返って

今年度の実践

3つのリオ・サンパウロ合同研究授業について



どのブロックもリオ・デ・ジャネイロ日本人学校と
共同で実践を重ねてきました。

小3 総合『ほかのまちに住む友だち』

【実施時期】 6月～7月

【時数】 11時間扱い

【目標】 サンパウロとリオデジャネイロのまちについて調べ、遠隔授業を通して比較することで、お互いの街に対する愛着を深めたり、遠隔交流の楽しさや面白さを感じたりすることができる。

【相手のまちのことを調べる】



【相手校へ考えを発信する】



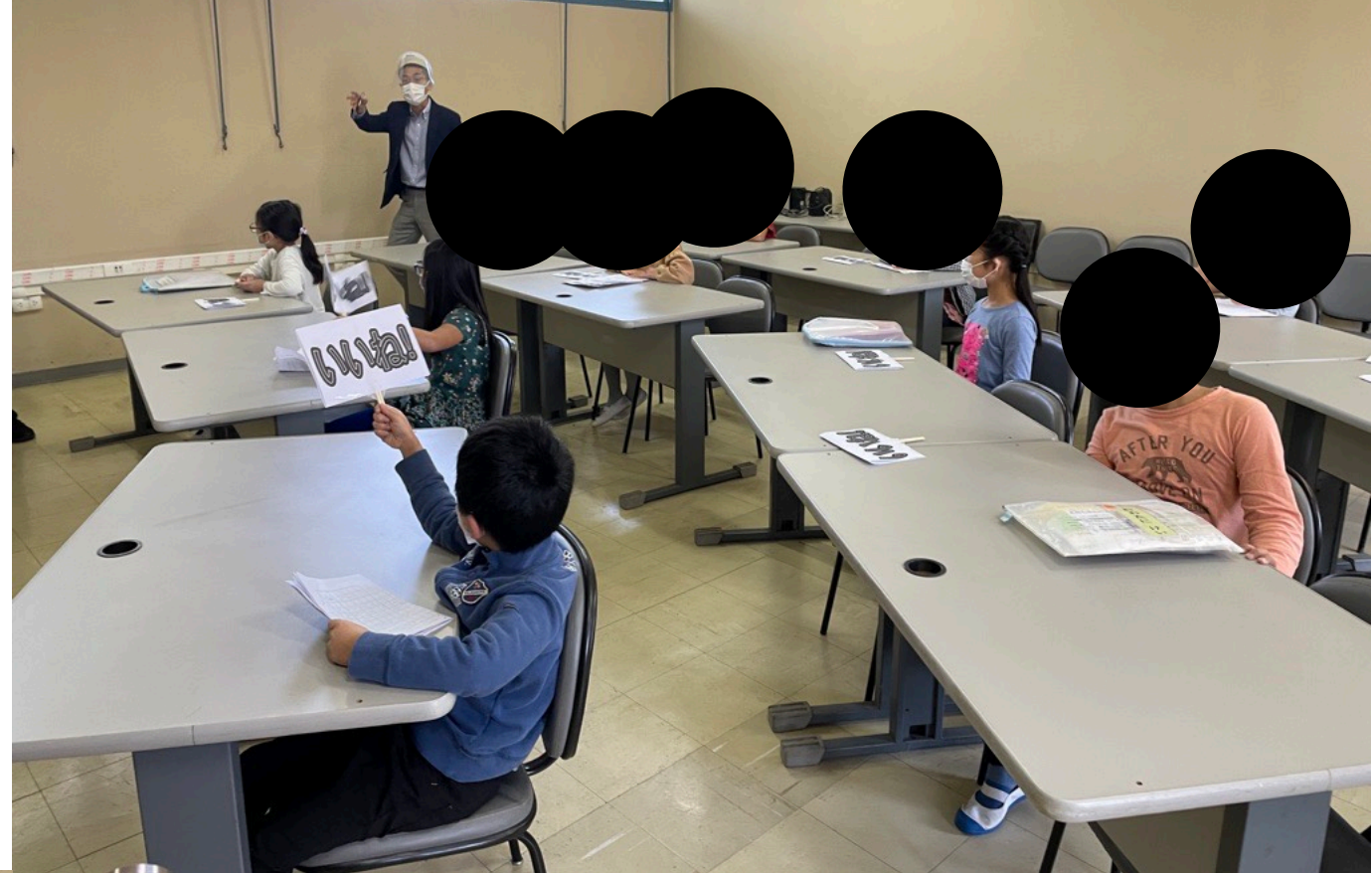
【相手の考えを知り、深める】



ICT・遠隔授業活用の焦点化

相手のまちのことを調べる

- ・ 社会科の学習を生かして
- ・ 気候も文化も全く違う街のあり方の発見と、自分の街を見直すきっかけ



リオの友達との交流

- ・ ネット上での対話活動、遠隔地の友達との交流の楽しさ
- ・ 達成感と新たな追究への意欲

中1・2 総合『ブラジルと日本の架け橋になろう』

【実施時期】 7月～9月

【時数】 20時間扱い

【目標】 ブラジルと日本、両国のつながりや携わる人たちの営みについて、情報を集め整理・分析し、両校並びに他の海外の日本人学校への発信を通して、さらに考えを深めることができる。

【具体的な事例を知る、学ぶ】



【考えを広げ、まとめる】



【考えを発信し、深める】



子どもが主体的に学んでいくための教材化



ゲストティーチャーから学ぶ

- ・元五輪選手の講話と、調べたことを発表し講評を受ける活動
- ・スポーツを通じた両国のつながりという具体的な事例を学び、追究の意欲に

他国の日本人学校への発信

- ・サンホセ・アグアスカリエンテス
両日本人学校への発信
- ・目的をもった追究と視野の広がり



小5 総合『ブラジルを好きになる、もっと好きになる』

【実施時期】 8月～10月

【時 数】 20時間扱い

【目 標】 サンバをはじめとしたブラジルの様々な文化に触れる中で、ブラジル文化と日本文化の違いに気付き、集めた情報を遠隔でのグループ学習を通して整理・分析し、発信することができる。

【具体的な事例を知る、学ぶ】



【小グループで考察しまとめる】



【考えを発信し、深める】



子どもが協働し、学びを深める学習展開

小グループでの話し合い

- ・遠隔地でも、子どもたち自身の力で話し合いを進めながら
- ・協働的な練り合いの場の設定

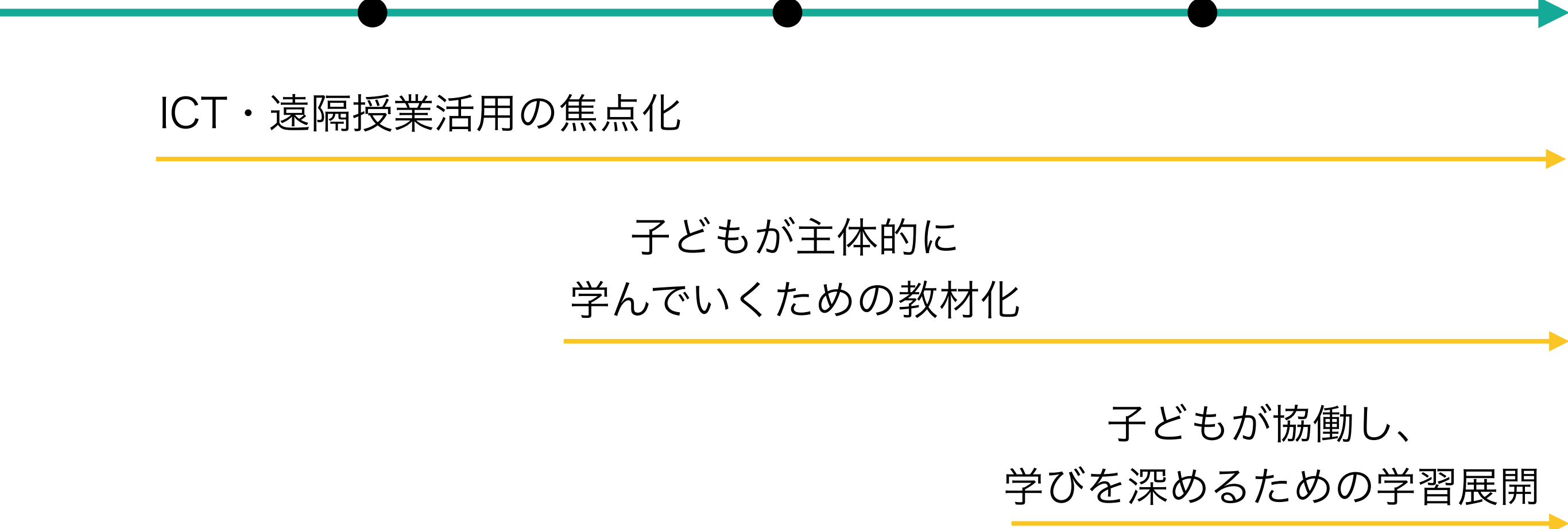


グループごとの発表会

- ・単元のゴールを明確に、目的をもった追究活動と表現の場の設定
- ・「音楽」「踊り」「衣装」と3つの観点で子どもの思考を整理

今年度の実践

3つのリオ・サンパウロ合同研究授業について



ICT・遠隔授業活用の焦点化

子どもが主体的に
学んでいくための教材化

子どもが協働し、
学びを深めるための学習展開

3つのブロックの研究が点から線となり、今年度の学校研究を形作っています。

日常の授業の中でも

リオとの継続的な交流
学習



幅広い学年や教科で
子どもをつなげ、
学びを深める

教室の中での
ICT機器の活用



子どもの思考過程に
沿った、適切な活用
方法を選んで

児童生徒一人一台
タブレットの配付



教師が使うICTから、
子どもが使うICTへ

実践をふりかえって

～遠隔授業を通して見える子どもの育ちと今後に向けて～



1. 研究の概要
2. 具体的な実践例
3. 研究をふり返って

3年間の実践をふり返って

- 
- 2019年度
 - ・ AG5の実践スタート
 - ・ 遠隔授業ソフトの導入
 - ・ リオデジャネイロ日本人学校との遠隔交流開始
 - 2020年度
 - ・ 新型コロナウイルス感染症による
全校オンライン授業
 - ・ 学校と家庭が一体となり
子どもの学びを止めないあり方を探る
 - 2021年度
 - ・ AG5実践の集大成
 - ・ ICTを使うことを目的とするのではなく、
ICTを使って子どもの学びを深めることに焦点化

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、
あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、
多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、
豊かな人生を切り拓き、
持続可能な社会の創り手となることができるよう、
その資質・能力を育成することが求められている。

—令和3年1月・中央教育審議会答申より

ブラジルだからできること

サンパウロ日本人学校だからできること

ICTや遠隔授業を通して深められること

「ZOOM」を

子どもと教材を
つなぐICT

今後に向けた課題

- ・ ICTを使うこと自体
- ・ 子どもの発達段階
- ・ 得意な教員のみが
- ・ 授業の中の子ども
- ・ 子どもが遠隔地
- ・ 遠隔交流自体が目的になっていないか。
- ・ その1時間で子どもが学びを深めているのか。



ICTと子どもを
輝かせる教師

実践をふり返って

～遠隔授業を通して見える子どもの育ちと今後に向けて～



1. 研究の概要
2. 具体的な実践例
3. 研究をふり返って

ご清聴ありがとうございました。

教職員のみなさま

いつもお世話になっております。

日頃より、本校のAG5推進にご協力いただき、誠にありがとうございます。

1月21日（金）の4校合同研修会で、本校の3年間の取り組みの成果と課題を発表します。
つきましては、研究部研究担当にて、別紙のとおりプレゼンテーションを作成しました。

お時間のあるときにご確認いただき、

このように発表することをご承知おきいただけますと幸いです。

（一部写真にモザイクがかかっていませんが、当日までに全て修正いたします。）

もしご意見やお気づきの点等ございましたら、ご遠慮なく高橋までご連絡ください。
どうぞよろしくお願いいたします。

高橋